

lignes de temps

Version 0.1

ユーザーズガイド





1. Lignes de tempsとは？ 3

2. Lignes de tempsの基本操作 4

- 「プロジェクト」タブ：4
- 「タイムライン」タブ：5
- 「情報」タブ：5
- 「ラフ編集」タブ：6
- 「表示設定」タブ：6
- 「ノート」タブ：6
- ズームイン／ズームアウト：6

3. プロジェクトの作成と保存 7

4. セグメント／マーカー作成とコメント追加 8

- 新しいタイムラインを作成する方法：8
- セグメント：8
- マーカー：8
- カラー：8
- セグメント／マーカーの削除：8
- タイムラインの名称変更：9
- タイムライン編集インターフェイスの終了／再開：9

5. ラフ編集 10

- ラフ編集の手順：10

6. ノート 11

- ノートの使い方：11

7. メディアのインポート 12

8. キーボードショートカット 13

9. 言語の追加 14

- 言語を追加する手順：14

10. よくある質問 16

- 作成したばかりの.ldtファイルや、コンテンツを保存したフォルダが見つからない（Windows Vista）：16



Lignes de tempsとは？

Qu'est-ce que le logiciel *lignes de temps*?

Lignes de temps (リーニュ・ド・タン) は、映画・テレビといった映像（またはオーディオ）を分析／批評するためのソフトウェアです。哲学者ベルナール・スティグレルが所長を務めるフランス・ボンビドーセンターIRI（リサーチ&イノベーション研究所）によって開発されました。

Lignes de tempsはノンリニア編集ソフトに似たインターフェイスを持っていて、言ってみれば映像制作のプロセスを逆向きに辿る装置です。映画や音楽のような映像・音声表現（これをスティグレルは時間的对象と呼びます）は、ファイルとしてLignes de tempsに読み込まれることで、空間的・図像的な断片の表現に変換されます。

Lignes de tempsの参加者は、そのようなかたちで表現された時間的对象を能動的に「読み」ながら、時間軸を自由に区切ってセグメントを作り、自分自身の分析の視点、論点にもとづくメタデータ（注釈など）を付与していくことができます。

Lignes de tempsには、その他にもセグメントへのタグ付け、一時的なノートの執筆、映像の再編集（それは「映像による映像の批評」や「作り手のポジションにも立てる受け手」を可能にするかも知れません）など、豊富な機能が用意されています。

Lignes de tempsによって、主観的な分析の視点を統一フォーマットで集積し、批評家、アマチュアの愛好者、プロの制作者などを繋ぐポジティブなループを築いていくことが目指されています。ぜひあなたもLignes de tempsを使って、わたしたちの協働的な「クリティカル・スペース（批評空間）」作りに参加してみてください！



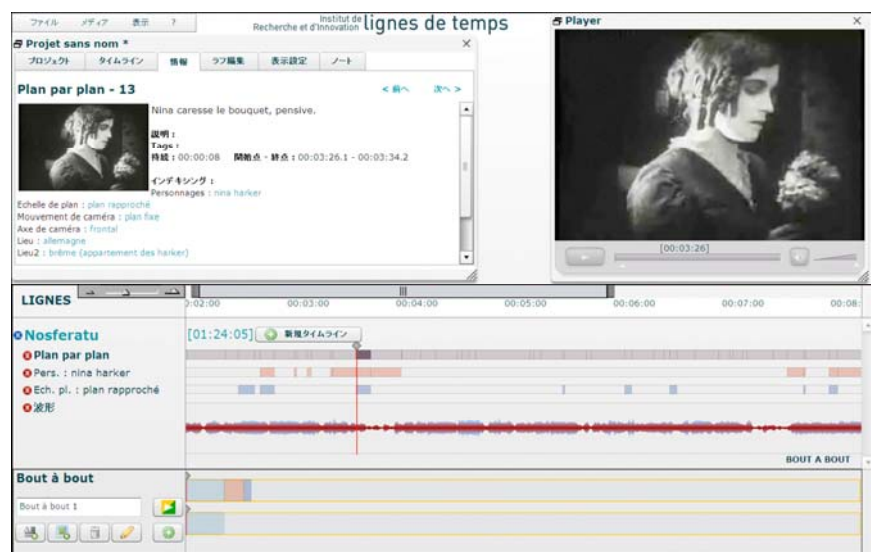
Lignes de tempsの基本操作

Navigation dans le logiciel *Lignes de temps*

まずは左上メニューバーの「メディア」をクリックし、動画を選択してください。もしあなたがインストールしたのが、サンプル映画『吸血鬼ノスフェラトゥ』（*Nosferatu* of F.W. Murnau）付属版なら、起動した時点で『吸血鬼ノスフェラトゥ』が選択されているはずです¹。右上のプレイヤーウィンドウで再生ボタンを押すと、ムービーを再生することができます。

画面下のタイムラインウィンドウでセグメントをクリックすることで、それに対応した動画のカットにアクセスできます。

画面左上のウィンドウには、作業中のプロジェクト名が表示されています。プロジェクト名の初期設定は「Projet sans nom」（名無しのプロジェクト）です。このウィンドウのタブを選択することで、Lignes de tempsが提供する様々な機能にアクセスできます。



タブには以下のものがあります。

「プロジェクト」タブ：

「プロジェクト」タブでは、作業中のプロジェクト全体についてのタイトル、作者、説明などの情報を入力することができます。

¹ 以下、このユーザーズガイドは、基本的に『吸血鬼ノスフェラトゥ』付属版に準じた解説になっています。

「タイムライン」タブ：

「タイムライン」タブでは、プロジェクトで作成したすべてのタイムラインにアクセスできます。『吸血鬼ノスフェラトゥ』には、サンプルとなるタイムラインが豊富に付属しています。たとえば下位タブ「リスト」を開いてみてください：

- 「カット割り」（Plan par plan）は、映画を1カットごとにセグメントとして分割したタイムラインです。
- さらに「カット割り」の下位には、「カメラの動き」（mouvements de caméra）、「登場人物」（personnages）、「場所」（lieux）などのカテゴリに分かれて、さまざまなタイムラインがプリセットされています。
- その中で「登場人物」（personnages）をクリックすると、映画の登場人物の一覧が表示されます。そしてその一覧の中から「ノスフェラトゥ」（nosferatu）をクリックすると、映画の中でオルロック伯爵が登場しているカットのみを抜き出したタイムラインが表示されます。

……といった具合です。こうしたプリセットのタイムラインは『吸血鬼ノスフェラトゥ』の基本情報、あるいは映画を分析するうえで私たちが推奨する基本的な着目点の例です。「新規タイムライン」ボタンを押せば、あなた自身の新しいタイムラインを作成することもできます。サンプルのタイムラインの内容は加筆修正できませんが、自分で作ったタイムラインは、いつでも修正することができます。新しいタイムラインはいくつでも作成できます。新しいタイムラインの作成方法についての詳細は第4章「セグメント／マーカー作成とコメント追加」を参照してください。

「情報」タブ：

「情報」タブでは、メディア／タイムライン／セグメントなど、現在あなたが選択している要素についての詳細情報が表示されます。セグメントを選択しているときは、「< 前へ」または「次へ >」をクリックすることで、前後のセグメントにジャンプできます。タイムラインを選択しているときは、以下のボタンを使うことができます。



このボタンを押すと、選択中のタイムラインまたはセグメントの内容を修正できます（選択した要素が変更不可属性の場合は、このボタンは表示されません）。



このボタンを押すと、選択中のタイムラインを削除できます（選択した要素が変更不可属性の場合は、このボタンは表示されません）。



このボタンを押すと、選択中のタイムラインの複製を作成できます（変更不可属性のタイムラインを修正したい場合は、この機能を使って複製を作成し、その複製に修正を加えると便利です）。



このボタンを押すと、選択中のタイムラインのセグメントのハイライトを解除できます。



このボタンを押すと、すべてのタイムラインのセグメントのハイライトを解除できます。



このボタンを押すと、選択中のタイムライン内のすべてのセグメントを使ってラフ編集 (bout à bout) を作成できます。



このボタンを押すと、選択中のタイムライン内のハイライトされたセグメントを使ってラフ編集 (bout à bout) を作成できます。



このボタンを押すと、すべてのタイムライン内のハイライトされたセグメントを使ってラフ編集 (bout à bout) を作成できます。

「ラフ編集」タブ：

「ラフ編集」タブでは、タイムラインで作成したセグメントなどを素材に、あなた自身の編集を作成することができます。同時に表示できるラフ編集は1つだけですが、ラフ編集はいくつでも作成して保存しておけます。



や ボタンを押して、ラフ編集の追加や削除をすることができます。ラフ編集の方法についての詳細は第5章「ラフ編集」を参照してください。

「表示設定」タブ：

「表示設定」タブでは、Lignes de temps の画面の状態、つまりどのタイムラインやメディアを表示するか、動画の再生ヘッド位置をどこにするか、タイムラインの表示順をどうするかなどの情報を、保存して読み込むことができます。



このボタンを押すと、選択中の表示設定に上書きして、現在の画面の状態を保存することができます。



このボタンを押すと、選択中の表示設定を削除することができます。



このボタンを押すと、新しい表示設定を作成して、現在の画面の状態を保存することができます。

保存済みの表示設定の名称を変更したいときは、その表示設定名をクリックしてください。

「ノート」タブ：

「ノート」タブでは新しいタイムラインやセグメントを追加せずに、メディアへのコメントを一時的なメモとして書き留めておくことができます。ノートの使い方についての詳細は第6章「ノート」を参照してください。

ズームイン／ズームアウト：



このスライダを左右に動かすことで、タイムラインの表示をズームイン／ズームアウトできます。



プロジェクトの作成と保存

Enregistrement des projets

新しいプロジェクトを作成するには、左上のメニューバー（注意：Flash Player 自体のメニューバーではありません）の「ファイル」メニューから「新規プロジェクト」を選択してください。

その後「プロジェクト」タブを開いてプロジェクト名などを入力してください。

プロジェクトを保存するには、メニューバーの「ファイル」メニューから「プロジェクトの上書き保存」を選択する、または「プロジェクトを別名で保存」を選択して保存する場所を指定してください。

重要！：「プロジェクトの上書き保存」の動作が安定せず、うまく保存できない場合は、「プロジェクトを別名で保存」を使用してください。

重要！：プロジェクトのファイル（.ldt形式ファイル）をダブルクリックしてもプロジェクトをLignes de temps に読み込んだり、Lignes de temps を起動したりすることはできません。この制約は、たとえ拡張子.ldtをアプリケーション Lignes de temps に関連づけても同様です。プロジェクトファイルを読み込むためには、まず先にLignes de temps を起動し、メニューバーの「ファイル」メニューから「プロジェクト(.ldt) を開く」を選択するようにしてください。




セグメント／マーカ作成とコメント追加

Découpage et commentaire



「新規タイムライン」機能を使うと、新しいタイムラインを作成し、そこにあなたの自身の関心に基づくオリジナルなコメントを追加することができます。新しいタイムラインはいくつでも作成できます。

新しいタイムラインを作成する方法：


「タイムライン」タブの  **新規タイムライン** をクリックし、タイムライン編集インターフェイスをアクティブにします（タイムライン編集インターフェイスは、画面下の「タイムライン」ウィンドウの中に出現します）。

セグメント：


編集インターフェイスでタイムラインに新しいセグメントを追加するには、次の2つの方法があります。

- 既存のタイムラインからセグメントをドラッグ&ドロップする。
- まったく新しくセグメントを作る。この場合、まずセグメントを開始したい位置に再生ヘッドを持って行き、 をクリックします。続けて、セグメントを終了したい位置に再生ヘッドを持って行き、もう一度  をクリックします。すると、開始点と終点をはさむ形で自動的にセグメントが生成されます。作成したセグメントには、「タイムライン」タブ>「セグメントとマーカ」で名前や説明を書き込むことができます。


マーカ：

時間軸上のただ一点だけを指し示す（時間的な持続範囲を持たない）シンプルなマーカを打つこともできます。マーカを追加するには、マーカを置きたい場所に再生ヘッドを持って行き、そこで  をクリックしてください。

カラー：

 で、選択中のセグメントやマーカのカラーを変更できます。


セグメント／マーカの削除：

 で、選択中のセグメントやマーカを削除できます。


タイムラインの名称変更：

タイムライン自体の名称も変更することができます。変更するには、タイムラインの左側にある入力欄で、初期設定の名称「マイ・タイムライン」を上書きして新しい名前を入力してください。タイムラインの名称は、リストから選択する場合などに使用されます。

タイムライン編集インターフェイスの終了／再開：

作業が終了したら、左側の（このタイムラインを追加）を押して編集インターフェイスを終了してください。

一度作成したタイムラインは、左側の（このタイムラインを修正）を押して、いつでも編集インターフェイスを再開できます。

が表示されないタイムラインは変更不可属性です。





ラフ編集


Bout à bout

「ラフ編集」（Bout à bout）機能を使うと、タイムラインで作成したセグメントを素材に、あなた自身の手による再編集を試してみることができます。

ラフ編集の手順：

1. 左上の「ラフ編集」タブをクリック、または右下の「BOUT À BOUT」タブをクリックして、ラフ編集 インターフェイスを開きます。
2. ラフ編集にしたいセグメントをタイムラインからドラッグ&ドロップします（ドロップ可能な箇所ではアイコンが変化します）。
3.  を押すと、入力したテキストを表示するセグメントを作成できます（タイトルやキャプションなどの用途に使うことができます）。
4.  を押すと、ローカルディスクから画像ファイル（jpegなど）を読み込んで、その画像を表示するセグメントを作成することができます。

ひとつのラフ編集は、2本のタイムラインで構成されています。2本は別々に編集することができるので、2つの映像を並べて比較したり、片方のタイムラインをもう一本のタイムラインの注釈として使用したり、いろいろな使い方ができるでしょう。

5. ラフ編集の結果を再生するには  を押します。2本のタイムラインが同時に再生されます。



ノート

Prise de note

「ノート」機能を使えば、新しいタイムラインやセグメントを追加せずに、メディアへのコメントを一時的なメモとして書き留めておくことができます。ノートはメディアを再生しながら書くことができ、書き終えたあとはタイムラインに変換することができます。

ノートの使い方：

1. 「ノート」タブをクリックします。
2. 右上のプレイヤーウィンドウで、ノートを開始したい地点まで再生バーをスライドさせます。そして「ノートの執筆を開始」ボタンをクリックします。メディアの再生が始まり、最初のコメントを記入できるようになります。
3. 別のコメントを書きたいと思ったら、「区切りを入れる」ボタンを押してください（またはショートカット「Shift + Enter」）。新しいテキストエリアが作成され、別のコメントを記入できるようになります。
4. ノートを書き終わったら、「このノートからタイムラインを作成」ボタンを押してください。ノートがタイムラインに変換されます。作成されたタイムラインは、他のタイムラインと同様、あとから修正できます。

重要！：ノートはタイムラインに変換しない限り保存されません。ノートした内容を保存したいときは、忘れずにタイムラインへの変換とプロジェクトファイルの保存をおこなってください（変換～保存をせずにLignes de tempsを終了するとノートの内容は失われます）。



メディアのインポート

Import d'un nouveau média

新しいメディアファイルをインポートするには、左上のメニューバーから「ファイル」>「メディアのインポート...」と選択します。インポートできる映像フォーマットはavi、mpg、mov、flv、インポートできる音声フォーマットはmp3です（コーデックの種類によっては、これらのフォーマットであっても、うまく読み込みができない場合があります）。インポート画面でメディアファイルを選択したら、情報（タイトル、作成者、日付、説明文）を入力してから「インポートの実行」ボタンをクリックしてください。ファイルのインポートが開始されます。

重要！：インポートにかかる時間は、使用するマシンの性能とメディアのファイルサイズに大きく依存します。数時間以上かかる場合もあります。

重要！：本ソフトのインポート機能は、まだじゅうぶんに安定しているとは言えません。インポートには、ビデオのコーデック変換、カット点の検出、波形データの生成など複雑な処理が伴います。インポートの実行中、警告のメッセージなしでバグが起きてしまうことがあります。バグの可能性をなるべく少なくするために、ファイル名とファイルを置く場所のパスは極力シンプルにしてください。つまりパスやファイル名に日本語、全角文字、アクセント記号付きアルファベット、スペース、ç # & % ! * () [] { } ; ; @ などを使用しないでください。たとえば：

C:/My Documents/My Vidéos/私の動画.avi

のようなパスとファイル名は、スペース、アクセント、日本語を含んでいるため、推奨されません。望ましいのは：

C:/videos/my_video.avi

のように、半角英数小文字とアンダーバーだけで構成されたパスです。この制約は、Windows、Macintoshの両方に当てはまります。



キーボードショートカット

Raccourcis clavier

ショートカット	効果
→	同一タイムライン内で次のセグメントにジャンプ
←	同一タイムライン内で前のセグメントにジャンプ
Space	メディアプレイヤーの再生/停止
Ctrl/ Command + S	プロジェクトを上書き保存
Shift ⌘+ T	タイムライン表示のズームイン
+	タイムライン表示のズームアウト
-	同一タイムライン内で次のセグメントにジャンプ
Shift ⌘+ Space	セグメントの開始点/終了点を打つ
Shift ⌘+ M	マーカーを置く
Shift ⌘+ X	セグメントの分割
Shift ⌘+ Del/ Suppr	選択したセグメントの削除
Shift ⌘+ E	このタイムラインを追加（作業中のタイムライン編集インターフェイスを閉じる）
Shift ⌘+ Enter	ノート執筆中、ノートに区切りを入れる



言語の追加

Ajouter une langue

Lignes de temps は多言語対応のソフトウェアです。現在の版では英語、フランス語、日本語がデフォルトで入っていますが、他の言語も簡単に追加することができます。Lignes de temps はgettext (<http://www.gnu.org/software/gettext/>) と呼ばれるGNUの国際化ライブラリを利用しています。Lignes de temps が利用できる.mo形式の言語ファイルを作るために、Poedit (<http://www.poedit.net/>) やGetText Editor (<http://www.gted.org/>) などのフリーソフトが利用できます。WindowsであれMacであれLinuxであれ、gettext準拠の編集ツールはインターネット上でたやすく見つかるでしょう。

言語を追加する手順：

1. 翻訳すべき一連の文字要素は、「messages.po」ファイルの中にまとめられています。「messages.po」は「(インストールしたLignes de tempsフォルダ)」/pkg/i18nの中に入っています。
2. この「i18n」フォルダの中に、追加したい言語をISO 639-1に基づく2文字コードで表した名称のフォルダを新しく作ります。たとえばドイツ語なら「de」というフォルダを、中国語なら「zh」というフォルダを作ります。
3. 「messages.po」ファイルをPoedit などのgettextツールで読み込み、各要素を該当言語に翻訳してから「messages.mo」ファイルを作成します。そして先ほど作成した2文字のフォルダの中にmessages.moファイルを置きます。つまりパスは
pkg/i18n/de/message.mo
あるいは
pkg/i18n/zh/message.mo
のようになります。
4. 続いて、追加した言語ファイルをLignes de temps が参照できるように、XMLファイルを書き換えます。XMLファイルの場所はpkg/i18n/lang.xmlです。このlang.xmlをメモ帳などで開き、一行加えるだけで書き換えは終了です。

例えば：

```
<iri>
  <lang label="English" data="en"/>
  <lang label="Français" data="fr"/>
  <lang label="日本語" data="jp"/>
</iri>
```

ここにドイツ語を追加するなら

```
<iri>
  <lang label="English" data="en"/>
  <lang label="Français" data="fr"/>
  <lang label="日本語" data="jp"/>
  <lang label="Deutsch" data="de"/>
</iri>
```

となります。中国語を追加するなら

```
<iri>
  <lang label="English" data="en"/>
  <lang label="Français" data="fr"/>
  <lang label="日本語" data="jp"/>
  <lang label="中文" data="zh"/>
</iri>
```

となります。

5. Lignes de tempsを再起動します。最初の言語選択メニューに、追加した言語が現れれば成功です。



よくある質問

FAQ

作成したばかりの.ldtファイルや、コンテンツを保存したフォルダが見つからない (Windows Vista) :

通常、Lignes de tempsは任意の場所に.ldtファイルを保存することができます。またインポートしたコンテンツ (.flvに変換した動画や、そのカット点の情報など) は自動的にフォルダにまとめられ、「(インストールしたLignes de tempsフォルダ)」内に保存されます。

しかしWindow Vistaでユーザーアカウント制御 (UAC; User Account Control) を有効にしている場合、他のアプリケーションまたはエクスプローラを使用してこれらの新しく作成されたファイルにアクセスしようとしても、ファイルが見つからないことがあります (Lignes de tempsのメニューバーの「ファイル」>「プロジェクト (.ldt) を開く」経由でならばアクセスできます)。

この現象は、UACが提供するファイルの仮想化機能によるものです。UACが有効のとき、Lignes de tempsが作成したファイルやフォルダは(見かけ上は任意の場所や「(インストールしたLignes de tempsフォルダ)」内に保存できますが) 実際にはファイルシステムの仮想化が可能な別の場所に保存されています。UACの設定を変更せずにエクスプローラなどからLignes de tempsが作成したファイルの実体にアクセスするには、以下のようにしてください：

1. まず隠しファイルにアクセスできるようにします。「コントロールパネル」>「フォルダオプション」>「表示」タブ>「詳細設定」で「すべてのファイルとフォルダを表示する」を選択します。
2. Lignes de tempsが作成したファイルは/ユーザー/「(ユーザーネーム)」/AppData/Local/VirtualStore/Program Files.に保存されています。

この現象はLignes de tempsの開発者が意図していなかったものです(開発者は当初Window Vistaでの使用を想定していませんでした)。UACを無効にすることで、この現象を回避できます。UACの無効化/有効化は「コントロールパネル」>「ユーザーアカウント」>「ユーザーアカウント制御の有効化または無効化」でおこなうことができます。

重要！：UACを無効にすると、セキュリティレベルが低下します。UACの無効化はご自分の判断と責任でおこなってください。

このユーザーズガイドは、英語版およびフランス語版ユーザーズガイドをもとに訳出し、日本語OSのユーザー向けに内容を増補、改訂したものです

ソフトウェアローカライズとユーザーズガイドの翻訳：阿部卓也 / 東京大学大学院情報学環・学際情報学府 石田英敬研究室

Translated and localized by Takuya ABE / Hidetaka ISHIDA Laboratory, III, Graduate School of The University of Tokyo

www.iri.centrepompidou.fr/s